

川西町地域公共交通計画 概要版

1. 計画の目的と概要

計画策定の趣旨

- ◆本町にはデマンド型乗合交通をはじめ、鉄道、民間タクシー等の公共交通機関があり、町民の日常生活の移動手段や観光・交流のアクセス手段として重要な役割を果たしている。
- ◆少子高齢化の進展等により公共交通機関が担う役割はさらに重要となり、地域交通資源を有効に活用し、持続可能な地域公共交通を形成することが望まれている。
- ◆本計画は、町が目指す将来像を実現する上で地域公共交通の果たすべき役割を明らかにするとともに、持続可能な地域公共交通を実現するためのマスタープランとして「川西町地域公共交通計画」を策定するもの。

計画区域と期間等

- ◆計画区域：町全域
- ◆計画期間：令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）
- ◆上位、関係計画：第6次川西町総合計画、山形県地域公共交通計画

2. 地域公共交通の課題

課題① 公共交通資源の有効活用

- ◆大量輸送機能である鉄道については、高校生を中心とした学生の通学の移動手段として重要な役割を果たしており、少子高齢化が進展しても重要性は変わらないため少子化に適応した機能を存続させる対策を講じる必要がある。
- ◆個別輸送機能であるタクシーやデマンド型乗合交通等については、買物や通院等の日常生活の移動を支える手段として重要な役割を果たしており、今後の高齢化の進展や生産年齢人口の減少に伴いさらに重要性は増すため社会構造の変化に即した機能の充実を図る必要がある。

課題② 広域公共交通ネットワークの強化と整備検討

- ◆デマンド型乗合交通の町外への運行拡大については、ニーズが低いいため運行の拡大ではなく、既存の公共交通ネットワークを連携させた広域間や都市拠点間の移動について最適化を図る必要がある。
- ◆高齢化や生産年齢人口の減少など、今後の社会構造の変化を見据えて、置賜管内の市町も含めた最適な広域公共交通ネットワークを整備する必要がある。

課題③ 高齢者の将来的な不安に対応する公共交通環境の構築

- ◆タクシーやデマンド型乗合交通までを要しない近距離の移動について、住民同士の乗合移動の需要が高いとともに、高齢化の進展や生産年齢人口の低下を背景とした、移動に付随したサービス拡大の需要も高いことから、社会構造の変化に即した最適な公共交通環境を整備する必要がある。

課題④ 公共交通環境に関する的確な情報発信

- ◆人口減少、高齢化の進展や生産年齢人口の減少等、社会構造の変化を的確にとらえ最適化させていく公共交通サービスについて、真にサービスを必要とする住民に対して確実に届く情報発信を行う必要がある。

3. 計画の基本的な考え方・施策の展開

基本理念

必要とする人に行き届いた持続可能な公共交通の実現

基本目標

目標1 輸送資源を最適化し、持続可能な地域公共交通の実現

施策(1) 公共交通ネットワークの最適化

- ・大量輸送における最適化
- ・個別輸送における最適化
- ・広域化における最適化
- ・その他（観光支援、次世代モビリティの研究、検討等）

目標2 地域住民の助け合いによる公共交通利用環境の構築

施策(2) 公共交通による住民生活への支援

- ・輸送プラスαで、住民生活を支援するサービスの検討
- ・免許返納者等の交通弱者への支援の検討

目標3 共に支えあう公共交通ネットワークの実現

施策(3) 地域公共交通に対する住民意識の醸成、関心の向上

- ・利用目的別にアクセス方法を周知
- ・既存公共交通の利用に関する情報発信
- ・デマンド型乗合交通の周知
- ・公共交通ネットワークと観光資源等の連携による利用者増加のための情報発信

計画の評価指標

目標指標	現状値（R7年度）		目標値（R12年度）	
JR米坂線、フラワー長井線の運行本数の維持	米坂線	21本	米坂線	21本
	フラワー	16本	フラワー	16本
デマンド型乗合交通事業者の維持、福祉タクシー事業者数の維持	デマンド	3社	デマンド	3社
	福祉タクシー	3社	福祉タクシー	3社
デマンド型乗合交通利用者満足度	86.6%		88.0%	
免許返納した高齢者のみ世帯でデマンド型乗合交通を使用している割合	57.1%		80.0%	